

給食パンの地元調達

また、これまで富良野市の業者に製造を委託してまいりました給食パンにつきましては、地元調達の観点から平成21年度より供給先を、社会福祉法人富良野大乗会で運営している「なんぷう香房 森のパン屋」へ変更してまいります。

給食費の改訂

給食費については、平成3年度の改正以来、完全米飯給食移行時の精白米代の加算のみに努めてまいりましたが、近年、賄い材料費が急激な価格上昇を続けておりますことから、本年度給食費を改定してまいります。

高等学校

南富良野高等学校についてですが、本校の教育目標を基本としまして、今日的な時代の要請や、生徒一人ひとりの個性や能力、適性を重んじた教育実践を進め、地域の特色を生かした学校づくりに努めているところであります。

しかしながら、過疎化、少子化による生徒数の減少のほ



下金山小学校・金山小学校合同田植え学習

か、学校選択の多様化など、安定した生徒確保に極めて困難を来している状況にあり、近年の入学志願者は、定員を大きく下回る状況となりました。このため、地域や保護者から期待され、生徒からも信頼される学校づくりを進めるとともに、生徒の実態や特性を的確に把握し、中学校と高等学校との連携をはじめとした課題解決に努めてまいります。

また、特色ある学校づくりの一環として、引き続き生徒が簿記等の検定受験をする際の受検料を補助するとともに、



南富良野中学校町内クリーン作戦

通学費を助成してまいります。学習指導としましては、従前同様習熟度別学習や進路に応じた類型学習、コンピュータによる情報教育、英語指導助手による語学学習、訪問介護士資格取得認定校として総合的な学習の一環で資格取得学習の充実を図り、更に、大学の進学に対応するため、教科選択の幅を広げるとともに、就職の対応に商業教科を中心としたコースとする教育課程など、地域や時代の要請に対応できる学校づくりに努めてまいります。

国際理解教育として進めております国際交流派遣事業は、意欲ある生徒が海外での体験交流を通して語学力の向上はもとより、国際感覚を養い、精神的にも成長し、周りの生徒にも良い影響を与えていることから、本年度も継続して実施いたします。また、本校の特色でもある、カヌー部やカヌー部など各部の活動についても引き続き支援をしていくほか、カヌー部においては全国高等学校総合体育大会や国体に毎年出場しておりますが、カヌー競技に使用される競技艇の構造基準の変更に伴い、昨年度より順次更新していくこととしており、本年度についてはカヤックのシ



高校総体予選に挑んだ南富良野高校カヌー部

ングル艇2艇を購入いたします。教職員の研修活動の充実

教職員の研修についてですが、児童生徒の健やかな成長に際するためには、学校教育の直接の担い手である教職員の指導力に負うところが大きいことから、教職員一人ひとりが社会の変化に対応する豊かな感性と幅広い教養を持ち、実践的指導力を高め、それを最大限に発揮し、連携協働していくことが極めて重要であります。子ども達にいかたたくましく生きる力を育成させることができるかが問われていますので、より一層の研鑽を積まれ、教師自ら資質向上されることを期待するとともに、校内研修をはじめ、各種研修会などに積極的に参加されるよう奨励し、研修活動の充実に配慮してまいります。

社会教育

社会教育の推進

次に、社会教育の推進であります。今日の子・高齢

化の進行や科学技術の発展、国際化、情報技術の進歩の中

で、生活の質の追求や男女共同参画社会、自然志向や知識文化志向が高まり、住民一人ひとりの生活価値観の多様化が進み、物心両面の豊かさや生涯を通じて健康で生きがいのある充実した人生を過ごすことが求められております。

このことから、第5次社会教育中期計画を基本としまして、生涯学習の原点であります「いつでも、どこでも、だれでも」が自由に学習活動できる環境づくりに配慮してまいります。

家庭教育

家庭教育についてでありませんが、核家族化や少子化の進行、共働き家庭が増加する中、家庭における教育力が低下していると言われており、社会教育の領域においても家庭教育は大きな課題となっておりますこと、家庭教育力の向上を図るため、引き続き家庭教育支援講座の開催、子育てのための学習機会や情報交換の場を提供してまいります。

ブックスタート事業

また、家庭において幼児期



子ども会カルタ大会

の親子のふれあいと絆を深めていただくためのブックスタート事業は、本年度も引き続き実施し、更なる親子のふれあいと絆を深め喜びを感じる機会の充実のため絵本の読み聞かせなどを併せて実施し、将来につながる読書活動の推進に努めるとともに、更に公民館図書室の活用などの推進に努めてまいります。

青少年の健全育成

青少年の健全育成であります。社会環境の変化に伴って、依然として非行や犯罪など青少年の問題行動が極めて大きな社会問題となっており、



本部町との親善交流事業(幾寅小学校)

このことは、核家族化や少子化の中にあつて、家庭における教育力の低下をはじめ、自然体験、社会体験、生活体験の不足や人々とのふれあいの欠如などが原因と指摘されており、家庭、学校、地域が相互に連携した活動機会の提供に努めてまいります。

沖縄県本部町との親善交流

友好の町「沖縄県本部町」との親善交流事業につきましては、18回目を数えており多くの子ども達による交流が行われてきております。北と南の子ども達の友情の輪の拡大と風土、歴史、文化の違いを



千里大学

自ら体験し学ぶことは極めて貴重であり、この事業を通じて両町の児童や保護者同士のつながりや交流も始まっており、今年度におきましても引き続き実施してまいります。

成人教育

成人教育についてでありませんが、成人期は、家庭、職場、地域社会において中心的な役割を担っている世代であり、働く女性の増加に伴い、女性の社会参加も拡大されてきておりますので、幅広い学習活動の提供に努めるほか、各種団体の育成と自主的な活動に

町民の国際理解と語学力の向上のために開設してあります。英会話教室につきましても引き続き実施してまいります。

芸術文化の振興

次に、芸術文化の振興についてであります。生活水準の向上や余暇時間の増大に伴い、心の豊かさを求め、趣味の学習や文化活動に対する関心が高まってきているところから、文化協会を中心とした団体・サークルへの支援を継続して行ってまいります。